

平成 30 年度 事業報告書

昨年度より、組織的経営を発足し経営方針を理解し運営を行い、社会福祉法人としてのコンプライアンスを遵守し、最後まで人として幸せな人生を送っていただく支援サービスの提供、地域社会のための生活者の老化予防サービスの提供、そして職員の幸せな未来を提供できる法人を目指してきました。

平成 30 年度は上記の通り、当法人にとり大きな改革の節目となる年となりました。

1. 和歌山市冬野に地域密着型特別養護老人ホーム冬野の郷の新設

平成 31 年 1 月の開設に伴い、利用者数は特養及び短期入所ともに月毎に増加しており今月中に満床予定であり、早期の収支安定が予想されます。

2. 特別養護老人ホームなつあけの里ささゆり苑における実地指導

夜勤の人員基準が満たされておらず和歌山県より減算を命じられました。前年度の看護師の人員不足に引き続き、同様の指導事項を受けたことについては猛省すべき点であります。

以上、組織的経営を為す中で、今後の目的としては役付者の権限と責任を明確にし実行できる組織を作ることであり、3 つの理念でもって法令遵守を強化し利用者に喜んでいただくサービスを提供する施設を目指します。

令和 1 年 6 月 1 日
社会福祉法人きたば会
理事長 北波利雄